



同窓会 会報



会報目次

- 役員あいさつ…………… 1
- 同窓会事業報告…………… 2
- 卒業生と在学生の今…… 3
- 大学の今…………… 4
- 里帰りイベント…………… 5
- 同窓会サイト案内…………… 6



ごあいさつ



同窓会会長
第一期生 森本 浩史

同窓生の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。同窓会（以下、本会）の活動に置かまはしては、平素より皆さまから多大なるご協力・ご支援をいただいております。厚く御礼申し上げます。

第一期生が卒業してから13年が経過し、管理職に昇級された方、認定看護師や専門看護師などスペシャリストになられた方、結婚や出産などライフステージの変化を迎えた方や、転職し職場環境を新たにされた方など、卒業生の様々なご活躍・お話しを耳にする機会が増えてきました。そこで、「卒業後のキャリア」をテーマとし、情報共有や親睦を深める機会として、愛知赤十字会館内にありましたサテライトキャンパス（本年9月より名古屋第二赤十字病院日赤愛知災害管理センター地下1階へ移転）での「里帰りイベント」開催を計画しておりました。「里帰りイベント」は本会設立時から続く主要事業の一つであり、例年好評をいただいております。残念ながら新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、実現には至りませんでした。会報第2号の発行や、リモートでの総会・講演開催など、現状で実行可能な内容に変更しながら事業を行っております。

また、本会は平成28年総会において卒業生のみならず在校生も会員とする会則が承認されております。COVID-19の影響で学習環境が大きく変化し、未だ終息の見通しが立っていないことから、不安を抱える在校生は少なくないと思われます。そこで、今年度の予算を見直し、支援補助金として200万円を計上いたしました。今後も感染状況を鑑みながら、同窓会は、在学生在がこれまでと同様に看護を学ぶ事ができるような支援を検討してまいります。

末筆ながら、COVID-19により逼迫する医療・保健・福祉の現場において、その最前線に立たれておられる卒業生の皆さまに、心から尊敬と敬意を表します。くれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。



母校の‘今’を お伝えします

同窓会顧問
日本赤十字豊田看護大学
学部長 村瀬 智子

卒業生の皆様におかれましては、お元気でご活躍のことと存じます。

本学では、第17回生を迎え、

令和2年度がスタートしました。残念ながら、コロナ渦のために入学式を挙行できず、新入生は、オリエンテーション時に登校したのみで遠隔授業に切り替えました。後期からは、週3日程度の対面授業を行えるようになりましたが、臨地での実習は短縮せざるを得ない状況が続いており、学修環境の制約がある中で大学生活を送っています。

一方で、危機をチャンスと捉え、感染予防行動を確実に身につける講義・演習の導入、リモートを効果的に活用した授業や進学相談会、専門領域紹介用のDVD公開、3密を避けたオープンキャンパスmini等、創意工夫をしながら地域へ向けての情報発信も行っています。お時間のある時に、是非、本学のホームページをご覧ください。

また、リカレント教育等、大学が可能な支援に関する卒業生の皆様からのご要望やご相談がございましたら、ご連絡をいただければ幸いです。

これからも卒業生の皆様と絆を深め、皆様の母校としての本学のさらなる発展に向けて教職員一同、努力して参りたいと存じます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



同窓会役員
第4期生 隅田 信一郎

会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成30年度より、日本赤十字豊田同窓会会計に選任されました第4期生の隅田信一郎です。

日頃は同窓会の運営につきまして、会員の皆様から多大なご協力とご支援を頂いておりますこと心からお礼申し上げます。

現在、私は刈谷豊田総合病院のICUで主任を務めています。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、受け入れ病院として感染対策の徹底など多忙な日々を過ごしています。医療従事者の皆さまもコロナの影響を受け、大変なご苦労があるかと思いますが、皆様気を緩めずにご自愛ください。また、同窓会におきましても新型コロナウイルス感染拡大に伴い、里帰りイベントなどの諸行事を企画していましたが中止となりました。新型コロナウイルスが落ち着いた際には、同窓会員の皆さまが親睦交流を深めるイベントを企画していきたいと思っております。

今後も会員の皆様には、母校の発展のためご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様の今後のご活躍を祈念してあいさつとさせていただきます。

同窓会事業報告

◎同窓会役員一覧 (日本赤十字豊田看護大学卒業生)

会 長	森本浩史 (1期生)			
副会長	吉田千世 (1期生)		西村由美 (1期生)	
理 事	村瀬裕美 (1期生)	鈴木真紀 (4期生)	近藤史崇 (3期生)	馬場智子 (8期生)
会計兼務	隅田信一郎 (4期生)		田川美咲 (9期生)	
会計監査	鈴木将司 (9期生)		水野彩花 (11期生)	

◎同窓会員数：1,286名 (令和3年1月時点)

◎令和2年度同窓会総会報告

同窓会総会について、令和2年11月14日(土) 10:00～ zoomにより実施されました。

同窓会会長より、令和元年度の事業報告と決算について説明があり、令和2年度の修正予算(新型コロナウイルス感染症対策学生支援補助)について審議し、承認されました。また、同窓会の会報について本年度中に発刊の準備を進めていることが報告されました。

◎令和元年度会計決算書

[収入の部]

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
新規入会者入会金	2,720,000	1,539,892	1,180,108
受取利子	100	0	100
前年度繰越金	10,951,182	10,177,832	773,350
合計	13,671,282	11,717,724	1,953,558

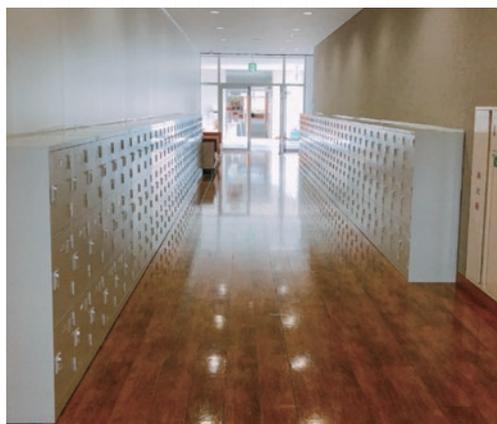
[支出の部]

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
事業費 教育環境整備事業	500,000	500,000	0
事業費 同窓会活動委託費	1,000,000	1,000,880	-880
事業費 卒業教育支援事業	200,000	0	200,000
事業経費 会員管理システム	291,600	291,744	-144
事業経費 会議運営費	250,000	165,434	84,566
祝花贈呈	20,000	20,648	-648
予備費	100,000	0	100,000
小計	2,361,600	1,978,706	382,894
次年度繰越金	11,309,682	9,739,018	1,570,664
合計	13,671,282	11,717,724	-1,953,558

◎在学生へロッカー寄贈

教育環境整備事業として、ロッカー279台を構内3か所(図書館前、大講義室1前、大講義室2前)に設置しました。学部生が教科書や資料の保管に使用しています。



図書館前



大講義室1前

卒業生と在学生の今

卒業生の今 ～卒業から現在に至るまで～



厚生労働省名古屋検疫所中部空港検疫所支所検疫衛生課
平山 達矢 (5期生)

私は大学を卒業後、名古屋第二赤十字病院の呼吸器センターに配属となりました。当時は日々の看護業務に加え、災害救護研修や学会発表など忙しいながらも充実した日々を過ごしていました。そんな中、30歳となり、これからの自分の進路を考え始めていた時に、病院と検疫所との合同患者搬送訓練がありました。呼吸器センター内には第一種感染症患者の収容病床があり、2014年に西アフリカでエボラ出血熱が流行した際に、空港からエボラ出血熱疑い患者の搬送収容を行う想定で訓練が行われ、そこで検疫という仕事を知り、興味を持ちました。

その後、感染症の最前線で働くことに憧れ、また個人的に空港で働きたいという思いもあり、転職を決意し、2017年4月から中部国際空港の検疫所に勤めることになりました。

検疫所では、海空港における入国者の健康状態の確認や検査、渡航前後の健康相談、渡航前の予防接種、衛生動物調査、航空機や船舶の衛生検査や輸入動物の届出審査等を行っています。どの業務も国内に常在しない検疫感染症の病原体が国内に侵入・蔓延するのを防ぐ目的で行っています。その中で看護師としては臨床で学んだアセスメント力やコミュニケーション力、他職種との連携が必要となります。また語学力や他機関との調整能力も必要です。日々海外の感染状況や国の水際対策も更新しており、常に最新の情報、知識を得ていくことが求められ、感染症の最前線で働いていることにやりがいを感じています。現在の新型コロナウイルス感染症対応では検疫強化により、時には乗客や国民からの厳しい声を頂き精神的にも辛い時期もありましたが、水際対策の重要性を再認識しています。

また私は今年子どもが誕生し、育児休暇の取得や勤務時間を考慮してもらい家族との時間を確保することができます。

今後は検疫官として父親として仕事と家庭を両立して成長していけるように頑張りたいと思っています。

在学生の今 ～自治会のあり方～



日本赤十字豊田看護大学学生自治会長
二村 圭祐

この度は、同窓会報第二号の発行、誠にありがとうございます。同窓会報第二号を発行に際し、学生自治会よりご挨拶する機会を頂きましたので、現在の学生自治活動の現状やこれからの展望について述べさせていただきます。

学生自治会とは、学生自身が主体的に大学生活をより良くし、看護活動への関心を高める組織です。そのため、大学の影響をある程度受けずに独立して活動しています。毎年、入学してくる学生に対して自治会費を納入して頂きそれらの自治会費で学生自治会は運営を行っています。

具体的には、いとすぎ祭、新入生歓迎会や自治会交流会などの企画の費用に充当させて頂いています。

本来であれば、今年度いとすぎ祭を実施する予定だったのですが、新型コロナウイルス感染症により中止せざるを得ない状況になりました。このように、上半期の事業の多くは中止または延期となってしまいましたが、下半期では、ICTを活用した企画を計画し実施しています。そこには、コロナを理由に活動を制限するのではなく、中でも感染予防対策を徹底し、なんとか自治会活動を継続していきたいという思いがあったからです。

現状、自治会員から自治会役員への加入が少なく、近い将来学生自治会の運営が厳しくなることが予想されます。そのような状態を打破するために自治会組織についての理解と、自治会役員への加入を促進を目的に、自治会交流会をWEB会議システム“ZOOM”を利用し行いました。現在、コロナ禍において人と人との関係が希薄化しつつある状況です。ICTを活用し、他学年との交流するきっかけになる機会になっていけば良いと思います。また、将来的には、在学のみならず、同窓会の先輩方との交流ができるような場を協同で企画できるようになることを願っています。

最後に、同窓会のさらなる発展を祈念し学生自治会からのご挨拶とさせていただきます。

里帰りイベント

里帰りイベントとは、卒業生と在校生が集える機会を設け、交流し各人のモチベーション向上を目的としています。

令和2年度 同窓会里帰りイベントを オンラインで実施しました！



【講師】

日本赤十字豊田看護大学
准教授 南谷 志野先生



オンライン画面

令和2年度の里帰りイベントを11月14日（土）の同窓会総会の後に開催しました。コロナウイルス感染対策のため、対面ではなく初めてオンライン（Zoom）で皆さまに参加していただきました。今回は講演会を実施しました。

講演を企画したのは、卒業生の声がかきかけでした。卒業生の中には管理職やスペシャリスト、大学院進学、教員への転職など様々な方がいらっしゃいます。しかし、「自分が何をしたいのかわからない」といった悩みの声もあり、同窓生の皆さまに寄り添えるような講演を企画しました。

講演タイトル

卒業後のキャリアについて

「卒業後のキャリアについて」本学の准教授 南谷志野先生に講演していただきました。

講演時間は約1時間、「キャリアとは？」から始まり、南谷先生のこれまでの経験談を交えながらキャリア・アンカーについて、看護師が活躍できる場についてお話をお聞きしました。講演後には、在学生・卒業生から講演を聞いた感想が発表され、その中で「看護師が活躍できる場所は病院以外にもると知り視野が広がった」と感じる方もいました。

初めてのオンライン総会・里帰りイベントは成功に終わり、画面を通してのやり取りはとても新鮮でした。

参加者の感想

私は、プライベートと仕事の両立に悩ましく感じていたのですが、南谷先生の「キャリアに良いも悪いもアップもダウンもない」という言葉にこれからの職業人としての人生を考えるよいきっかけとなりました。

女性としてのライフイベントを経て、足踏みすることが職業人としてはマイナスというイメージを持っていたのですが、それも将来へ繋がって行く大切なキャリアであることが分かり考え方が変わりました。

今の生活をすぐに大きく変えることはできませんが、自分は看護師としてどうなりたいかという展望は大切にしたいと思います。ありがとうございました。

（日本赤十字豊田看護大学1期生）



同窓会サイトご案内

同窓会会員専用サイトのご案内

同窓会会員専用ページでは会員情報の登録・変更もできます！

同窓会会員専用ページには会員情報を変更できるシステムもございます。ご住所や電話番号などの基本情報はもちろん、メールアドレス、様々な情報を登録・変更できますので、ぜひご活用ください。

同窓会会員専用サイトのログイン方法

大学ホームページ・またはQRコードからログインください。
日本赤十字豊田看護大学HP>卒業生の方>同窓会>会員サイトログイン



QRコード
はこちら！

ご住所やメールアドレスは同窓会からの案内の際に必要です。更新をお願いいたします。
また、同窓会への加入も随時受付しております ✨ 加入方法は大学ホームページをご覧ください。また、加入しているか分からない場合は、お調べしますのでご連絡ください。

(連絡先) 日本赤十字豊田看護大学 学務課 学生・キャリア支援係

TEL 0565-36-5111 (平日9:00~17:00) E-mail:dousoukai@rctoyota.ac.jp

ご寄付のお願い

1. 募集目的

日本赤十字豊田看護大学サポーターズ募金“いとすぎ募金”として、1.教育活動の充実 2.研究活動の充実 3.奨学金制度の充実 4.学生生活の支援 5.施設設備の充実 6.社会連携の推進を行うこと。

2. 寄付金額

1口 5,000円 ※1口~10口程度の範囲でご検討くだされば有難く存じます。

3. お申し込み方法

同封の「寄付申込書」を本学経理課あてにE-mail・FAX・郵送いずれかの方法によりお申し込み願います。
※お預かりした個人情報、寄付に関わる手続き以外には使用いたしません。なお、本学は、特定公益増進法人の認定を受けておりますので、お預かりした個人情報を文部科学省へ提供する場合があります。ご了承の程お願いいたします。

【ご寄付受付口座】

- ① 豊田信用金庫 朝日支店 普通 1020525
日本赤十字豊田看護大学 学長 鎌倉やよい
- ② 郵便振替 00840-8-68673 日本赤十字豊田看護大学

4. 税制上の優遇措置

本学への寄付金は、税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

5. 申込・問い合わせ先

日本赤十字豊田看護大学 事務局 経理課

TEL : 0565-36-5111 E-mail : keiri-ka@rctoyota.ac.jp

Coming Soon

「複写文献郵送サービス」を開始します

学術情報センター・図書館では卒業生・修了生を対象にした、図書館所蔵の資料資料の複写物、他大学図書館から取り寄せた複写文献をご自宅まで郵送するサービスを、まもなく開始します。文献1件につき500円（郵送料含む）の定額制で受け付ける予定です。

詳しくは大学ホームページ内、図書館サイトで準備が整い次第、広報いたします。

【お問い合わせ】学術情報センター・図書館 TEL：0565-36-5119 E-mail：bunken@rcyotoyota.ac.jp

同窓会に関するご意見・ご感想を ぜひお聞かせください

同窓会報をご覧いただきありがとうございます。

皆さまの会報及び同窓会に対するご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

会報は皆さまの声を反映していきます。質問、ご要望など何でもお聞かせください。

例えば、「こんな里帰りイベントを企画してほしい」「大学のこんなことが知りたい」「〇〇先生が大学で元気か知りたい」など。

ご意見をお寄せいただいた方の中から先着でQUOカード500円分をプレゼントいたします。

皆さまのご応募を心よりお待ちしております✩

先着でQUOカード500円分をプレゼント！

(応募方法)

①ハガキ 〒471-8565 愛知県豊田市白山町七曲12番33
日本赤十字豊田看護大学 学務課 同窓会係

1~4をご記入ください。

1.在学時の氏名 2.生年月日 3.会報No.2で良かった記事のタイトルとその理由

4.会報や里帰りイベントで取り上げてほしいこと、ご意見・ご感想など何でもご記入ください。

②大学ホームページまたはQRコードから応募

日本赤十字豊田看護大学HP>卒業生の方>同窓会>ご意見窓口

(応募締め切り)

2021年5月31日(月)まで ※消印有効



QRコードはこちら！
ご意見お待ちしております！

編集後記

会報No.2の発行にご尽力いただいた役員、在学生、また同窓会会員の皆さまへ心より感謝申し上げます。

早いもので、年度末になってしまいました。大学周辺では最近になって、隣の山にソーラーパネルがドドンッと設置されました。この前スクールバス停留所近くでスマホのライトを点けたら、狸がサササッと目の前から走り去りました。狸を見たのは久しぶりでした。大学付近には自然が残っているなあ、と感じる今日この頃です。

学務課 小泉

同窓会 会報 No.2

発行日/2021年3月

編集・発行/同窓会

日本赤十字豊田看護大学

学務課 学生・キャリア支援係

〒471-8565

愛知県豊田市白山町七曲12番33

TEL：0565-36-5111

FAX：0565-37-8558

E-mail：dousoukai@rctoyota.ac.jp

H P：https://www.rctoyota.ac.jp/